

2015

JAN. 1 vol. 37

# 東京成徳広報



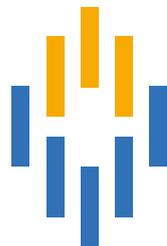
東京成徳大学中学・高等学校 弓道部



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	<b>巻頭言「短期大学 50 周年を思う」</b> 理事長 木内 秀樹
P 4	<b>学園の動き</b>
P 5	<b>インチョン 2014 アジアパラ競技大会出場 金・銀・銅メダルの活躍</b> 高等学校 1 年 池 愛里さん
P 6	<b>東京成徳学園の歩み⑤</b> 学園創立 80 周年から 90 周年へ
P 8	<b>ひと「活躍する卒業生」</b> 後援会顧問 藪崎 千恵子さん（中学・高等学校卒業） 学園評議員 後援会会長 藪崎 精克さん（幼稚園卒園） 後援会副会長 川北 水江さん（中学・高等学校卒業） 臼倉 桂子さん（中学・高等学校・短期大学卒業）
P 10	<b>教育活動</b> グローバル人材の育成
P 12	<b>進路状況</b>
P 14	<b>TOPICS</b> 大学院 大学 十条台キャンパス 大学 八千代キャンパス 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷中学校 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園
P 20	<b>入試カレンダー・お問い合わせ先</b>



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク  
イエローは「活力」と「勇気」を表し、  
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、  
同窓生を象徴しています。  
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五  
本の柱は五つの教育目標を象徴していま  
す。  
そして、八本の柱が一体となり、東京成  
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ  
ニティを作り上げる姿を表現しています。

表紙 中学・高校 弓道部

学園の耐震化対策の一環として、平成 24 年に耐震改築され  
た弓道場。部員たちの的を狙う鋭い眼差し。



## 「短期大学50周年を思う」

東京成徳学園理事長 木内 秀樹

### 十条台キャンパス

本年は学園創立90周年、そして、短期大学50周年の節目の年です。

短期大学は、昭和40年に現在の北区十条台に開学しました。東京オリピックの翌年あたり、高度経済成長期が始まる活気ある時代でした。

我国では、戦後に教育制度の根本的な改革が行われ、いわゆる6:3:3・4の新しいシステムが構築されました。当初短期大学は暫定的な制度となりましたが、昭和39年に学校教育法が改正され、大学の枠内において短期大学の恒久化が実現されたことにより、全国で多くの短期大学が開設されました。しかし、近年では少子化や4年制大学への志向の高まりの中で、大幅に校数が減少しています。本学も開学時は文科100名の入学定員で始まり、一時は3科630名となりましたが、四大への転換などにより現在では幼児教育科のみ180名となっています。しかし、短期大学自体の使命が変わった訳でなく、資格が取れる分野は相変わらず人気があり、本学も志願者は2.5倍程度の倍

率となっています。学生募集に関しては、都内のJR駅から徒歩5分の至近にある立地の良さの恩恵を受けていることは言うまでもありません。キャンパスの選定にあたって第三代理事長は次のように語っていました。「他の短大は附属高校と同一のキャンパス内にあることが多い。しかし、大学と中学・高校とでは生徒指導の方法が異なっていると思う。大学では、比較的自由な雰囲気が必要であるが、中学・高校では厳しいしつけを必要とする場合もあるので短大は別のキャンパスに作る方がよいと思っていた。」と、以上の考えで適地を探し、北区内の米軍キャンプで使用されていた国有地を昭和36年に取得することができました。

開学時、十条台キャンパスの敷地は7227㎡でしたが平成6年に隣地12320㎡を取得し、現在の19547㎡(5923坪)となっています。この隣地取得については、当時副学長であった故鎌田正先生のお力がなければ実現できなかったことを忘れることはできません。当時

鹿島建設の所有地で、既にマンションの建築が決まっていた土地を石川六郎会長の決断で学園に譲っていたのだのです。実は石川会長は、東京高等師範附属中学校(現筑波大学附中・高)に在学中、鎌田先生のクラスの教え子でした。その後、私も石川会長をお訪ねする機会が何回もあり、兄とともに学校の後輩であることから、大いに励まされたものです。

世の中というのは不思議なもので、何かを成し遂げる時は、必ずといってよい程「運と縁」があるものです。この時は鎌田先生が本学にいらっしやらなければ現在の十条台キャンパスはなかったでしょう。

### 縁に支えられて

人の縁ということでは、第三代理事長は『短期大学二十年史』の中で次のように述べています。「『教育は人なり』といわれる。よき教師集団の招致こそ最重要であり、何よりも働き易い環境づくりを大切にしたい。アインシュタインは、多くの科学的業績というものは、その人の『心構え』と『人となり』によるものである』と『人となり』によるものである」と言っている。本学に職を奉ずる者は旺盛な研究心を持つと同時に教育愛に燃える集団であり、特に人間関係(教師間、教職員と学生・卒業

生)を大切にしたい。私はこれから人間関係の総合された持続的な姿こそ学園と呼びたい。」この言葉の通り短期大学は開学時から他の大学にひけを取らない優秀な教授陣を揃えていました。

学長に東京教育大学元文学部部長の熊沢龍氏、科長に国立国語研究所元所長で国語学の権威である西尾実氏、英語では東京教育大学の飯島東太郎氏が名を連ねました。特に父は西尾先生に教壇に立つてもらったことを熱望しており、先生を訪ね「美しい日本語を確立したいのでご協力をお願いしたい」と就任を懇願し、先生から快諾をいただくことができました。来てくださることが決まった日の我家の夕食では、そのことをとても嬉しそうに話していた父の様子を今でもはっきり覚えています。先生の存在は本学にとってかけがえないものとなり、開学後、助教授や講師の先生方も学生とともにその講義を聴講したことが語り草となっています。そして、前述の鎌田正先生も昭和50年に国文科長として着任され後に副学長をされましたが、日本の漢文学の権威として高名な学者でもありました。

このように短期大学は、多くの人々の「縁と支え」を賜り本年50周年を迎えることができます。

学園の動き

東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会開催に向けた大学・短期  
大学連携に係る協定書の締結

大学及び短期大学では、平成26年12月1日、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、それぞれの資源を活用してオリンピック教育の推進や大会機運の醸成等の取り組みを進めるために、一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と協定を締結いたしました。



大学十条台キャンパス  
新校舎オープニングセレモニー

大学十条台キャンパスでは6月末に完成した校舎のオープニングセレモニーを9月19日に行いました。当日は設計・監理の株式会社山下設計建築の清水建設株式会社の各代表の方をお招きし、後期授業から校舎を使用する学生とともにテープカットを行いました。その後檜の木ホールこのけら落としコンサートが催され、ピアノ 木村京平さん、歌 興梠みどりさんによるS・ラフマニノフ作曲



「絵画的練習曲ハ長調作品33-2」と「ワグネル作曲歌劇「タンホイザー」より、エリーザベットのアリア「汝、貴き殿堂よ」が奏でられました。

本年の主な行事  
・「東京成徳ビジョン100」の策定と発表  
・大学十条台キャンパス新校舎竣工式の開催  
・短大創立50周年記念誌の発行及び記念式典の開催

創立90周年について

東京成徳学園は今年創立90周年を迎えます。10年前に実施された創立80周年記念事業は、この10年間の礎となり学園を大きく成長させました。そして、創立90周年では、次の10年後、創立100周年の時に東京成徳学園があるべき姿を示す「東京成徳ビジョン100」を策定し、発表することとなりました。

旭日双光章授与される  
昨年秋の叙勲において中学・高校同窓会長であり学園評議員を務められていた染谷一子さんに旭日双光章が授与されました。染谷さんは、本市議会議員を永らく務められていました。

学園人事 平成26年8月―平成27年1月

採用

所属	氏名	配属・役職
大学事務局	春日 信平	学生生活課
大学事務局	田熊 清泉	総務課
大学事務局	野平 真由美	八千代総務課
中学・高校	下村 信子	寮

退職

所属	氏名	配属・役職
大学	増尾 伸一郎	人文学部日本伝統文化学科教授
大学事務局	黒澤 里香	総務課
大学事務局	幅岸 秀樹	総務課長
中学・高校	吉成 トモ子	寮

異動

所属	氏名	配属・役職	前任
大学事務局	堀江 佳奈	総合事務室	入試広報課
大学事務局	道堀 嘉奈子	入試広報課	総合事務室
大学事務局	古山 尚	大学院事務室係長	八千代総務課係長
中学・高校	有馬 雅憲	総務課長	大学学生支援課課長



## 16歳池 飛躍の泳ぎ

### 女子の複数種目でメダル

韓国・仁川で開催されているアジアパラ大会の日本選手団で、最年少のアスリートが活躍している。競泳女子の16歳、池愛里(東京成徳大)。アジア記録を持つ50m自由形(運動機能障害)で優勝するなど、22日までに3つのメダルを手に入れた。23日午前には100m背泳ぎでも自己ベストを1秒近く縮めて、5位になった。喜びだけでなく、勝負の厳しさを味わった。様々な経験を重ねている。

#### アジアパラ大会

取材エリアで寝にくれたのは20日の100m自由形決勝だった。アジア記録保持者として準決勝で後半に失速。2位に終わり、記録も塗り替えられてしまった。「目標タイムで泳げなかった。悔しい……」幼いころは陸上やバスケ

リハビリを兼ねて始めたのが水泳だった。「自分の生きがいであり、楽しみ。ベストタイムが出るとうれしい」。12歳からは本格的に取り組みようになった。身長177センチ。「スケール

日本選手団最年少、16歳の池愛里

インチョン2014 アジアパラ競技大会出場 金・銀・銅メダルの活躍  
東京成徳大学高等学校 1年 池愛里さん

平成26年10月18日から24日まで 他に100m自由形で銀、400m自由形、韓国・仁川で開催されたアジアパラ 100m背泳ぎにおいて銅メダルを獲得  
競技大会において、水泳50m自由形 得し、100m平泳ぎにおいて4位入賞  
(運動機能障害) において優勝し、を果たしました。

「五輪の選手になりたい」が口癖だった。小学3年のとき、左ひざの近くが痛んだ。筋肉痛と思っていたら、倍近くまではれた。悪性の腫瘍ができていた。医師には足の切断を勧められた。それだけは嫌だった。抗がん剤の副作用で髪は抜け、吐き気に苦しんだ。薬で腫瘍は小さくなり、手術で取り除けたが、足首から先が自由に動かなくなかった。リハビリを兼ねて始めたのが水泳だった。「自分の生きがいであり、楽しみ。ベストタイムが出るとうれしい」。12歳からは本格的に取り組みようになった。身長177センチ。「スケール

2014年10月23日 朝日新聞夕刊9面

#### アジアパラ競技大会に出場して



池 愛里

10月18日から韓国で開催されたアジアパラ競技大会に競泳日本代表として出場しました。6種目に出場し4つのメダルを獲得することが出来ました。日本選手団の最年少として出場し、緊張やプレッシャーがあつた中でしっかり結果を残すことが出来て、とてもうれしく自信になりました。来年には世界選手権、2年後にはリオデジャネイロパラリンピックがあります。この結果に満足せず、日々前進していきたいと思えます。ご声援ありがとうございました。今後とも応援よろしくお願いたします。

帰国後、体育館で行われた報告会では、4つのメダルを首にかけて披露。「皆さまの応援のお蔭」と感謝の言葉と共に「今後の決意」を堂々と述べましたが「競技の本番より緊張しました。」とのこと。  
池さんは日本代表選手指導経験の長い峰村史世コーチがパラリンピック選手育成を掲げたチームMINEMURA Para Swim Squadの一員です。スタミナをつけるために、「よく食べ、十分な睡眠をとって練習に励んでいます。」  
今後の活躍が期待されています。

#### 2014毎日スポーツ人賞「新人賞」受賞

(主催毎日新聞社)

この賞は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてなど、優秀な成績をあげ、将来を期待される選手に贈られます。

東京成徳大学深谷高等学校出身の高桑早生さん(慶応義塾大学)は選手団の旗手を務め、陸上(女)100m(T44・T47)において銅メダルの活躍をされました。

東京成徳学園の歩み⑤  
— 学園創立80周年から90周年へ —

第四代理事長 木内秀俊先生(現 学園長先生)



平成22年初めての高等教育部門(大学院、大学、短期大学)合同入学式

## 高等教育部門の拡大・充実

平成17年9月に就任された木内秀俊理事長は、学園を取り巻く環境変化などに対し、「不易流行」の考え方で臨まれました。すなわち建学の精神を現代に即して解釈し、その教育面での実体化を図るというところが「不易」の部分であり、教育分野、教育手段などについて柔軟に変化に対応し、取り入れていくことが「流行」の部分であるという考えです。

学園の大きな力を結集・一体化すべく大学院から幼稚園までの幹部が集う部門合同会議を開催され、また、学園の教育力向上と財務体質強化のため中期事業計画策定し推進されました。

特に学長を兼務された大学を中心に高等教育部門の充実・発展に注力されました。

平成19年に、人文学部の福祉心理学と臨床心理学を分離して応用心理学部を設置し、さらに、平成21年には、健康・スポーツ心理学を増設しました。また、十条キャンパスに経営学部を、翌年には人文

学部観光文化学科を設置し、収容定員も2千名を越えるまでに発展させました。一方で短期大学の改組整備を実施されました。こうした高等教育改革の結果、平成5年八千代キャンパスに開学した当時は1学部3学科でしたが、現在は十条台キャンパスと合わせて4学部8学科の規模に充実しました。

大学院では、平成15年に設置された博士課程において平成18年3月に博士後期課程を修了した3名に対し、本学園として初めて「博士(心理学)」の学位が授与されました。

現在義務化されている文部科学大臣が認証した評価機関による第三者評価を平成19年度に短期大学、平成20年度に大学が評価を受け、それぞれの評価機関より評価基準を満たしており「適格」と認められました。

木内秀俊理事長は平成25年3月をもって大学長と短期大学長を退任され、海保博之先生が大学の新任学長、木内秀樹先生が短期大の新学長として就任されました。

平成25年大学は創立20周年を迎え、記念企画として「イメーજキョウクター」、「応援歌」、「スローガン」の公募を行いました。そして、11月にはホテルオークラ東京ベイにお

いて創立20周年記念式典が開催され、ご来賓、学生代表、教職員をはじめ卒業生の皆さんが参列されました。公募されたそれぞれの表彰も行われました。特にイメーζキョウクター「とっくん」の登壇に、会場は沸き、人気者となりました。

## 共学化の推進

創立者菅澤重雄先生は創立時の状況を踏まえ、「国家の興隆は教育にあり、特に女子教育のレベルを高めなければありえない」と説かれ、爾来学園は女子教育に専念してきました。しかし、平成5年に大学を開学したのを契機に、順次中学、高校、短期大学の共学化を推進し、現在は全て共学となっています。学園全体で見ると、平成11年の学生・生徒の男子比率は約20%でしたが平成26年には42%となっています。

## 中等教育部門の充実

中学・高等学校では時代に即したカリキュラム改革を重ね進学実績の改革を重ねています。また、特色ある教育として「自分を深める学習」や中学校の「サタディプログラム」などの人間性を深める情操教育や他分野への興味関心を涵養する教育を実施しています。

平成25年4月に東京成徳大学深



幼稚園お楽しみ会「ピーターパン」の熱演



中高一貫部合唱祭



第二幼稚園地域との交流



深谷高等学校オーストラリア修学旅行

谷中学校を開校しました。確かな学力を身につけることを目標に深谷高等学校との一貫教育が可能となりました。そして、深谷高等学校は創立50周年を迎え、10月に総合体育館（Fアリーナ）において記念式典が挙行されました。

**木内四郎兵衛先生のご逝去**

平成18年2月に木内四郎兵衛先生がご逝去され、4月護国寺桂昌殿において学園葬がしめやかに営まれました。先生は昭和21年に東京成徳高等女学校に副校長として着任され、昭和50年に理事長に就任、60年余の長期間に亘り、学園のために教育者として先見性と斬新なアイデアに基づく新構想、長期計画の具現に全力を尽くされ学園を総合学園にまで発展させるといふ大きな業績を残されました。また、学外においても私学教育の先頭に立ち、広く全国私学の振興・発展に貢献されました。

**90年。そして100年に向けて**

平成25年5月に木内秀俊理事長は学園長、木内秀樹副理事長が第5代理事長に就任されました。

木内秀樹理事長は就任にあたり、100年にまでの十余年の課題を以下のように示しました。

① 学園の一本化

② 各学校の目標設定

③ 校舎建替え、設備の充実

④ 大学の充実

⑤ 中学・高校の充実

⑥ 幼稚園の充実

これらを具体的に実現させていく方針として創立100周年の学園と各校の将来像を構想する「東京成徳ビジョン100」の策定を進めることとなりました。

「建学の精神」は学校にとつて不易なものであり、時を経てもその意義を失わないものですが、時代のニーズをとらえ、教育に活かしていく必要があります。その意味で学園及び各校の将来像「東京成徳ビジョン100」を策定することは、今後の目標を共有し、在校生、卒業生、教職員などのオール成徳のエネルギーのベクトルを束ねる役割を果たすものと期待されています。

平成26年3月の学園理事会で学園全体のビジョンとして『成徳』の精神を持ったグローバル人材の育成』という理念が承認されました。そのビジョンに基づき、各校がどのように行動するべきかの方針を策定し、学園創立90周年の平成27年秋に「東京成徳ビジョン100」の公表を計画しています。

(おわり)

# ひと

## 『活躍する卒業生』

中学・高等学校

(昭和28年3月卒業)

後援会顧問

荻崎 千恵子さん(母)

幼稚園

(昭和41年3月卒園)

学園評議員・後援会会長

荻崎 精克さん(息子)

中学・高等学校

(昭和35年3月卒業)

後援会副会長

川北 水江さん(母)

中学・高等学校

(昭和61年3月卒業)

短期大学幼児教育科

(昭和63年3月卒業)

白倉 桂子さん(娘)

親・子・孫の3代にわたって学園に進学され、長いご縁を頂いている2組の親子に往時の学園の様子をお聴きしました。

**Q. 入学されたきっかけ・思い出は**

千恵子さん…私は昭和22年に高等女学校に入学しました。卒業は学制改革があり高校です。高校3年(昭和28年)の時、幼稚園ができ、入園試験の手伝いをした記憶があります。私の父もPTAの役員をやってお

り木内四郎兵衛先生と親しくさせて頂いていただきました。

卒業後に縁あって木内先生より、通称「ヤブサキ校舎」と呼ばれていた校舎を建てた建築請負業の義父荻崎鎌三郎(P.T.A会長)の息子和伸さんをご紹介いただき、ご夫妻のご媒酌で昭和33年3月3日に結婚しました。翌年長女、年子で長男精克、更に妹が生まれました。先生の奥様に勧められ、子どもは成徳幼稚園、中学は共学の方が良いと思いい公立へ、娘はみな高校は成徳で、次女は短大の幼児教育科でお世話になりました。



荻崎千恵子さん

精克さん

精克さん…私は幼稚園に姉といっしょに通いました。時々、朝の支度が遅れ、送迎バスに乗り遅れること

がありました。そんな時バスは待つてはくれないので、家の材木を運ぶトラックで園庭まで乗り付け、子ども心に恥ずかしかった記憶があります。帰りもバス停まで誰も迎えに出ていないとまた幼稚園に戻され、トラックで迎えにきてもらう始末でした。

千恵子さん…当時の幼稚園は2年保育で長女が年長の時、母の会の副会長を務めました。3月3日講堂でおひな祭りを行った時、大雪となってみな帰れなくなり大変だったことがあります。3人の娘が高校在学中の時もPTAの副会長をさせていただきました。

水江さん…私は昭和29年に中学に入學しました。面接試験の時、父が付添いできてくれました。当時父はメッキ・工業薬品などの販売をしていたのですが、木内四郎兵衛先生と戦争の話などで、気が合いとでも仲良くなったようです。学校の用事があるという父親は喜んでオートバイで学校に駆けつけていました。私は高校の時、体育のF先生にまるで親か姉のようにいろいろと相談に乗っていただき、結婚の時も先生にお世話になりました。長女(桂

子さん)が生まれた時は、この子は成徳に入ると決めて勉強をさせていました。ところが中学の入試の試験日を忘れて受験せずF先生にひどく叱られました。幸い2次募集があつてそれを受験できました。娘の在学中は千恵子さんのお嬢さんも学年は違いましたが在学中で御一緒にPTAの役員(会計)を務めました。



川北水江さん

白倉桂子さん

桂子さん…中学は公立の学校に進学すると思っていました。母親につれて学校の図書室でペーパーテストの後、親子の面接があり初めて母が成徳の卒業生であることを知りました。当時は入学生も少なく僅か2クラスでした。

千恵子さん…私の時も2クラスで家政科の私たちはいつも普通科の人から笑われていました。

水江さん…私も中学の時は2クラス、それが高校に入ると10クラスになり大変驚きました。

桂子さん…私が高校の時は人数が全校で5千人位、学年で36クラスあり、アルファベットでは足りずFAとかFZという表示でした。2年生の11月に生徒会役員の選挙があり、私は会長に立候補しました。学年ごとに立会演説会があり所信を発表したのですが、千人以上の人前で話すのは初めてだったのでとても緊張しました。「生徒会を身近なものにしたい」と訴え2千2百票近くいたなき当選しました。当選してから改めて責任の重さを痛感しました。翌年の60周年記念式典・慰霊祭で会長として旗手を務め校旗がとても重く大変だったことが強く印象に残っています。そして、女性は幼児教育を学ぶのがよいと思い短大に進みました。

印象深い学生生活を過ごすことができたので私も、母と同じく、子どもは成徳に入学させようと思いい、お陰さまで高校に通っています。

精克さん…私は娘が中学受験の時、やはり共学が良いと考えていたら丁度中高一貫校ができ、その一期生として入学できました。その頃は家業の建築会社を継いでいたので非常に忙しい日々を過ごしていたのですが、私が不在の時木内四郎兵衛理事長が来社され、PTAの役員をやれと強い要請があったので会計をお引き受けしました。最初の年は社業が激務のため出席率が悪く先輩に「お前は評判が悪い！」と活を入れられたので2年目からは責任ある副会長として務め会長も3年の任期を全うしました。「やるなら楽しくやろう！」と保護者と教員の球技大会等も行いました。木内先生は祖父と親交があったせいか私をまるで孫のように接してくださいました。

**Q: 後輩へのメッセージ**

千恵子さん…今の子どもたちは恵まれ過ぎて物事に対する感謝の気持ちが薄いのではないかと思います。もうすこし周りの人たちに対して気配りとか感謝の気持ちを持つたら良いと思います。私たちは小学校5年の時長野県に集団疎開し、食べるものがなく、ひもじくて渋柿を拾って食べたこともあります。

終戦直後には木造の校舎のささくれだった床を、生徒が皆で毎日雑巾がけをしました。棘がささると痛かったですよ。大変な時代を過ごしてきたのです。

水江さん…私は成徳という有難い所に入学させていただいて感謝しています。ですから在学中に学校の名前を汚すような悪口を言った友人をすぐ怒ったことがあるのです。「それじゃあ、なんでこの学校に来たの」と言っただけで…卒業後、その友人は成徳を周囲に勧めるまでに応援しています。自分がお世話になった学校を大切に思う気持ち、それに特に目上の人に対する言葉づかい、感謝の気持ちを忘れないください。学生の時にしかできないことをやって欲しいです。

精克さん…今の東京成徳に来ている生徒さんはいろんな学校を選択して本校を希望し、親も入れたいと思っただけで入学させている。木内秀樹理事長もその期待に応えようとして学園を変えながら、先生方もしっかりと応えている。施設も整っているので学園全体の良さを感じて時間をムダに過ごさないうで欲しい。いろいろな意味でチャレンジして時間を

大事に、今その時を大切にして欲しい。私たちも成徳にお世話になったという感謝の気持ちで成徳の良さを話している。その繋がりが3代・4代と成徳に来てもらうことになると思います。

桂子さん…今の若い人たちに先輩の言われた言葉をしっかりと聞いてやっていただきたいと思います。自分の母校を誇りに持てるように思ってください。

精克さん…長男・次男に子どもができたら出来れば成徳に入れて繋いでいきたい。



## グローバル人材の育成 中学校・高校の取り組み

学園ではグローバル教育の一環として幼稚園から英語の導入が図られています。中でも中学校・高校では英語を母国語とするネイティブスピーカーを教員に配置し、授業以外の学校生活を担うことによつて英語や外国文化を身近なものにしたり、イングリッシュキャンプなど特色ある取り組みを行っています。

### 深谷中学校 イングリッシュキャンプ

8月26日から28日まで「校内イングリッシュキャンプ」が行われました。このキャンプでは、各学年に外国人講師2人を迎えて、3日間英語漬けで過ごす合宿です。1年生は「1人でスピーチ」を、2年生は「3人1組でスキット(寸劇)」を課題にし、最終日に、生徒、先生、保護者の前で成果を発表します。

特に2年生は、3日間を校内の宿泊施設で寝泊まりして、ゲームや音楽、スポーツを取り入れ、講師の母国の文化に触れるなど、リスニングやスピーキングを体感し、原則的に英語だけの環境の中で、生徒はス

キットに必要な「会話力」を磨いていくのです。そして、2日目の夕方からは3人1組で、オリジナルのスキットを作りはじめます。テーマは「学校生活」でした。本番では、小物を活用したり、身振り手振りで、みんな見事に演じられました。物語は、転校生や忙しい友人などさまざまなテーマでわかれていたグループもありました。



講師の先生は、「生徒は私を知ろうと進んで質問したり、どんな英語に積極的になっていました。英語力は高いので、それを生かす気持ち、これからも持つて欲しいです。」と3日間を振り返りました。

生徒たちは、「普段使う単語でセリフを作ったのですが、講師の先生に実際に海外で使う表現や言い回しを教えてもらって変えていきました。」3人でセリフのタイミングを合わせるために、話し合いました。

た。「劇が短くなってしまったので、I likeのあとにbecauseを使うなど、会話を加えていきました。」と、言い回しやテンポ、そして話の展開の仕方まで学びました。

### 中高一貫部(中学校)

#### 「英語がいついままにできるのか」を

#### 合言葉に

平成24年度よりネイティブスピーカーによる授業を導入し、現在は中学1年生で英語の授業時数が週8時間、うち3時間がネイティブスピーカーによる授業となっています。生徒たちは学習者である以前に、英語話者でなければいけません。英語科では、音と意味が直感的に連結する

向けて発信された英語を簡単に拾い上げる耳が自然とできあがってきます。中には、自分に向けられたものでなくても、関心のある内容ならば敏感に反応できるようになる生徒もいます。そうして、音としての英語がしっかりと口と耳についている生徒ほど、いわゆる英文法の理解・定着に要する時間が短く、高い運用力を身につけることができます。

体作りを念頭に置き、特に英語を習い始める1年生については、積極的に英語の音を自ら発することによって、日常生活において身の回りに流れている英語を拾い上げる耳の育成を目指しています。中学3学年にそれぞれ学年所属教員としてネイティブスピーカーがいるという恵まれた環境の中、授業中に限らず、休み時間でも放課後でもあたり前のよう

英語で話しかけられるチャンスがある生徒たちは、例えば日本語で会話をしている最中であっても、自分に



取る受信力(リスニング・ライティング)をまんべんなく伸ばさせ、4技能のバランスのとれた英語話者の育成に取組んでいます。

**English Speech Contest**

Every year during the cultural festival, all three grades of the junior high school participate in an English speech contest. The theme differs for each of the year groups and is designed amongst other things to highlight the English learnt throughout the students' time at the school. The main aim of the contest is to give speakers the opportunity to practice present and display their language skills to a wide audience; skills that are required in order for Japan to compete in a globally competitive market place where English holds the key to success for future Japanese generations. The speech contest currently has an international element with the inclusion of the assistant principal of a school in England as a judge who joins via a live video link. The speech contest is then watched at a later date by students in the UK through a U-stream link found on Tokyo Seitoku's website. The themes for this year's speech contest were:

1<sup>st</sup> Grade: My favorite people      2<sup>nd</sup> Grade: Stereotypes of Japan      3<sup>rd</sup> Grade: Places in Japan

Simon Brass the assistant principal of Brighshaw High school in England described the speech contest in the following way;

*"The speech contest gives students at Tokyo Seitoku the opportunity to learn how to listen to advice, improve pronunciation, develop presentation skills, learn how to communicate in front of a large audience and learn how to persuade an audience through the way they deliver their speeches.....all vital skills for the future of any individual entering the global marketplace".*

Mr. Brass along with 21 Junior High school students will participate in a homestay at Tokyo Seitoku in June 2015. During this time students from both countries will study presentation and speaking skills together.

To see this year's speech contest in full please visit the Tokyo Seitoku website  
<http://www.tokyoseitoku.jp/js/index.html>

文化祭の時に開催されたスピーチコンテストの様子について Walker (ウォーカー) 先生に報告していただきました。各学年に設けられたテーマ(1年「私の好きな人」2年「日本らしさ」3年「日本の場所」)に応じ、培われた語学力でプレゼンテーションを行います。コンテストはライブ中継され、イギリスのBrighshaw高校のBrass教頭先生に講評をおこなっていただきました。2015年6月Brass先生は中学生を連れ来日し、両校の生徒によるスキルアップをする予定です。  
 コンテストの様子はホームページで見ることができます。<http://www.tokyoseitoku.jp/js/index.html>

Davey 先生から生徒のみなさんへ英語の上達の秘訣についてメッセージをいただきました。「英語の学習は容易ではないが、アクティブになることによって難しいことではない」と



ホームルームにて  
 「How are then connected?」

高校(高等部) 特進Sコースのクラスの副担任はカナダ出身のDavey (ティュー) 先生です。  
 当初不安はありましたが、木内校長に「You can do it.」と励ましをいただき務めています。朝・夕のホームルームに担任の平川先生と共に出席します。毎日のホームルームで生徒たちに違ったトピックスを提供し考えさせるのはとても大変ですが、生徒たちに英語に触れる機会を多く設け、生徒の志望を実現できるように努力しています。

**Message to Students**

Learning English is not easy. However, it is not difficult either. The best way for Japanese students to learn English is to be an **active learner**.

Step1: students **should search** for English - don't wait for it! Instead of **using** a Tango-cho, **make** a personal Tango-cho. Instead of watching English TV for entertainment only, study and learn the **real meaning** of the dialogue and story. Most importantly, in class and at school events students should ask your(foreign) teacher questions.

Step2: students should set weekly goals. For example, memorize 10 verbs in a week. Step-by-step, week-by-week, you will improve!

John(Edward Francis) Davey

## 進路状況

### 十条台キャンパス 子ども学部・経営学部

子ども学部の4年生は8割近い学生が保育士及び幼稚園教諭を目指します。キャリア形成の授業の中で就職観・職業観の育成に取り組み、卒業後の目的意識が高い学生が多いため、例年同様高い就職決定率を見込むことが出来ています。

第3回目の卒業生となる経営学部も90%以上の就職決定率を見込むことが出来ています。

「就職に強い東京成徳大学」ブランドを作り上げられつつあるのは、教職員が連携しながら学生の就職活動を支援しているからです。

就職を取り巻く環境が改善される中、求められている大学の支援は「学生が何をしたいのか・何が出来るのか」を引き出しながらカウンセリングしていく個別対応力です。

学生が納得する就職をするために、大学のキャリア支援として何を・どのような仕組みで行っていかかを考えながら対策を講じていきたいと思います。

### 八千代キャンパス 人文学部・応用心理学部

4年生の就職状況についてご報告します。八千代キャンパス全体の就職決定率（卒業見込者のうち内定や進学が決まっている学生の比率）は61.6%で前年同時期を5%ほど上回っています。卒業時には80%を見込みます。

昨年も10%程度改善しましたのでここ数年の就職決定率の向上は目覚ましいものがあります。新卒マーケットの環境が良くなってきたりすることもあります。

年次からのキャリア教育、それぞれの学科の授業における教育内容の工夫等により、学生が一段と力を付けてきていることが大きいものと考えられます。

日本航空(株)、りそなグループ、東光電気工事(株)など上場あるいはそれに準じる企業に就職を決めた学生は十数人になります。その一方で、八千代キャンパスのある地元千葉県内の優良企業にも多くの学生が進路を決めています。千葉日野自動車(株)や丸金印刷(株)といった千葉県

経営者協会の会員企業や千葉県中小企業家同友会の企業を中心になっています。自宅通勤を希望する学生は年々増えており、キャリア支援担当としてさらに就職先を開拓していきたいところです。また福祉関係では(福)愛光、(福)慶美会といった福祉施設をはじめ(社)桐和会、板橋中央医科グループのような医療関係や株式会社による経営の福祉機関など幅広く進路を決めています。



平成26年度 社会人スキルアップ講座【八千代キャンパス】

講座名称	講座名称
1 卒業後の職業人生について考える	16 ビジネスマナー講座
2 進路選択の考え方(1) 内的キャリアの理解	17 業界・企業研究Ⅰ(各職種における具体的な仕事内容を知る)
3 進路選択の考え方(2) 内的キャリアの探索	18 業界・企業研究Ⅱ(業界の全体像を知る)
4 社会人としてのルールとマナーを習得	19 業界・企業研究Ⅲ(業界人から話を聞く)
5 ビジネスワークを通してシゴトを理解しよう(1)	20 業界・企業研究Ⅳ(企業研究のノウハウを知る)
6 ビジネスワークを通してシゴトを理解しよう(2)	21 業界・企業研究Ⅴ(中小企業の魅力を知る)
7 ビジネスワークを通してシゴトを理解しよう(3)	22 履歴書の書き方講座(大学時代に力を注いだこと編)
8 ビジネスワークを通してシゴトを理解しよう(4)	23 履歴書の書き方講座(自己PR編)
9 ビジネスワークを通してシゴトを理解しよう(5)	24 履歴書の書き方講座(志望動機編)
10 社会を知り、自分との接点を考える(1)	25 求人票の見方、会社説明会のまわり方講座
11 社会を知り、自分との接点を考える(2)	26 面接対策講座、履歴書用証明写真撮影会
12 SPI 模擬試験&対策講座	27 グループディスカッション対策講座
13 先輩の就職体験談を聞く会	28 就活本番に向けて今後の行動計画を立てる
14 一般常識対策講座	29 学内合同企業研究会
15 前期講座の振り返り(自己理解・職業理解・社会理解の確認)	30 学内合同企業研究会の振り返り

学科別にみると、観光文化学科は

11月末時点でほぼ100%進路は決まっています。健康・スポーツ心理学科の女子もほぼ決まっています。そのほかの日本伝統文化学科、国際言語文化学科、福祉心理学科、臨床心理学科は50～60%の決定率というところ です。

キャリア支援担当は引き続き全力をあげて一人ひとりの学生の希望の進路実現のために支援してまいります。保護者の皆様がたにおかれましてはお子様へのご支援をよろしくお願い申し上げます。(文中の敬称を略させていただきます。)

**短期大学の就職状況**

幼児教育科は例年と同様に、ほとんどの学生が保育士及び幼稚園教諭を目指し就職活動をしており、現在(12月4日)の就職決定率は78.4%となっています。

**内定者インタビュー**

(株)ゲオホールディングス 内定  
経営学部 経営学科



山本 勇さん

**Q.** 就職活動をふりかえって

就職活動を始める前から自分のやりたい方向を決めていたので、希望する業界を多くエントリリーして受けました。面接にも進めない企業があり悔しい思いもしましたが、私の好きなものを仕事にするという思いの強さ、そしてゼミの先生や学生生活課の就職指導担当の方の支えがあり志望する業界に内定を頂くことが出来ました。

**Q.** 後輩へのアドバイス

大学生活中にやりたいことを探しておくといいいと思います。私の場合は洋服が好きなのでアパレル企業を受けよう思いました。そのようなものが見つけられなかった場合は就職情報サイトを見て、興味のある企業の企業説明会に参加すると企業のことを知ることができて入社意欲が湧く可能性があります。また、大学生活を楽しんで欲しい

です。楽しんだ中に自分の強みが出てくると思いますし、そういった学生を企業は求めていると思います。

(株)メガネトップ 内定

人文学部 日本伝統文化学科



三田 百合菜さん

**Q.** 就職活動をふりかえって

ある程度行きたい業界は当初から決まっていたのですが、他の業界も見てみようと合同企業説明会では興味がありそうなところの話も聞きながら就職活動をしました。何十社もエントリリーするのではなく興味や人事の方の人柄等を見ながら選び、選考を受けました。結局、選考を受けたのは少なかつたのですが、自分が学んで来たことをきちんと伝えることができて、良い経験となりました。

**Q.** 後輩へのアドバイス

まず分からない事があったり、悩んでいる事があったりしたら学生支援課キャリア支援担当に行くことが大事です。また、顔を出しに行くだけでも就活に使える資料を貰

えたりします。

やたらと、沢山の企業の選考等を受けるのではなく自分を見失わない程度に見極めながら就活をして下さい。

そして、一つ人とは違う「学生時代に力をいれたこと」をしてみるとよいかもかもしれません。

できるだけ後悔の無いよう、思っていることなどを素直に話して就職活動を行って下さい。

〔就職支援センター〕

**平成 26 年度 大学就職内定先 (一部、順不同)**

日通商事(株)、君津信用組合、(株)メガネトップ、中部国際空港旅客サービス(株)、丸金印刷(株)、千葉日野自動車(株)、国際自動車(株)、東光電気工事(株)、(株)パレスホテル、大竹建窓(株)、(株)三井不動産ホテルマネジメント、橋本産業(株)、(株)地域新聞社、(医)崇徳会、(福)愛光、(福)慶美会、(福)ひまわり会、日本航空(株)、(株)アドバンス、(株)サンリツ、千葉県警、りそなグループ、総合警備保障(株)、(株)ナルミヤ・インターナショナル、長谷川ホールディングス(株)、丸真(株)、(株)キタムラ、朝日信用金庫、(株)ユナイテッドアローズ、(株)、ゴディバジャパン(株)、(株)木下工務店、(株)目黒雅叙園、(株)ナムコ、三菱樹脂(株)、(株)マルエツ、(株)ゲオホールディングス、丸三証券(株)、(株)東京鋳鋼、(株)イーピング、長谷川ホールディングス(株)、(株)メッセージ、情報科学システム、(株)エクセル、(株)東武ストア、(株)ジョリーパスタ、京都市ももの友禅(株)、(株)幸楽苑、(株)サタケ 公立小学校、公私立幼稚園・保育所

大学院

同窓会の開催

9月20日に、本年度の大学院同窓会が開催されました。第1部では、臨床心理士資格認定試験の模擬試験が行われ、試験本番を間近に控えた多くの修了生が参加しました。第2部は、OB・OGフォーラム（修了生による心理臨床の職業体験に関する講話）が開催され、現役の院生は、先輩の貴重な体験を熱心に聞いていました。第3部は、総会が行われ、最後は、修了生、現役の大学院生、教職員が一堂に会して、懇親会が開かれました。

本大学院の様々な教育・研究活動が、たくさん修了生たちに支えられて成り立っていることを改めて強く感じる一日となりました。

修士論文中間発表会

10月4日、今年度2回目となる修士論文の中間発表会が行われました。今回は、ポスター形式での発表となり、M2年生の院生は、やや緊張した面持ちで、教員や参加者からの質問に対応していました。あたたかも学会発表の会場のように、各研究について活発な意見交換がなされています。M2年生のみなさんは、1月末の提出日に向けて、修士

論文を仕上げていく段階になりませんが、たくさん示唆が得られた今回の中間発表は、有益な時間になったようです。M1年生の院生にとっても、次年度の修士論文作成に向けて自分の研究計画を検討する上で有意義な会になっていたように思われます。

大学 十条台キャンパス

子ども学部

子どもとは何か（リレー掲載⑦）

助教 吉田直哉

「子ども」という言葉が使われるとき、そこには、何らかの価値判断が込められている。例えば、「子どものような感性の持ち主だね」と言われた人は、「純粹」「新鮮」な感性を持つていると褒められたのだろうと思うに違いない。一方、「子どもっぽい考えをしているな」と言われた人は、「稚拙」「軽率」な思考回路しか持っていないと、蔑まれたように感じるだろう。「子どもとは何か」を考えると、私たちが意識しなければならぬのは、このような「子どもらしさ」がもつ両義性である。「子どもらしい」という属性は、プラスにも評価されうるし、

逆にも評価されうる。しかし、「子ども」の「本質」は、そのような価値的な判断を中絶したところに、突如として現れてくるものが少なくない。ニーチェは、哲人ツァラトゥストラに、こう語らせている。「子どもとは純真である、忘却である、新しい始まりである」。ここでは、私たち「大人」が当たり前のものとして信じ込んでいる「常識」とは異質な、新しい世界観、価値観が、「子ども」に仮託されている。「子どもとは何かを考えること」とは、「大人であること」に対して、ちいさな休符を与えることなのである。

経営学部

ファッションショーの開催

ファッションビジネスが2年目に入った今年、経営学部は10月の桐友祭で授業の一環としてファッションショーを開催しました。ショーのタイトルは「JUJO GIRLS COLLECTION」。テーマは「エシカル&ユニバーサル」、環境や人にやさしい服をテーマにしました。

ファッションショーは初めての試みのため様々な企業やブランドの協力を得ましたが、ショー全体のプロデュース、モデル、スタイリング、音楽、照明、司会進行などは学

生自らが行いました。モデルの募集を十条台キャンパス全体で行ったところ、子ども学部や幼児教育科からも多数の応募があり、ショーは十条台キャンパス挙げてのイベントとなりました。最初はバラバラだったモデルの動きや音楽もウォーキングドレッシングやリハーサルを重ねるごとに揃うようになり、当日は約500人入る檜の木ホールがいっぱいとなり、盛大かつ華やかなショーとなりました。



学生はファッションショーを通じて普段の授業では得られない貴重な経験することができました。また子ども学部や幼児教育科の学生

にも高い関心を持ってもらえたため、十条台キャンパス全体を盛り上げるイベントとしてもフアッシュョーションを継続していきたいと考えています。

## 大学 八千代キャンパス

### 学内活性化プロジェクト



八千代キャンパスでは、ただいま「学内活性化プロジェクト」として、学生の居場所づくり、学生と教職員との交流の場づくりを進めています。

教室棟のエレベーターホールや、情報棟の学生ラウンジ、一部の教室などを、楽しい広場としてディスプレイし、居心地のよい場所にするために、学生たちが中心となって工夫を重ねています。また、これと並行し

て、八千代キャンパスの図書館でも「学生のための図書館づくり」を進めており、マンガの導入や、学生ラウンジでの展示など、図書館をもっと身近な居場所として利用してもらう試みがなされています。昨年オープンした待望のコンビニ（Yショップ）も含め、これまでにはなかったような取組みが次々と行われ、学生たちも積極的に利用しているようです。八千代キャンパスが「ふれあいのあるキャンパスづくり」として長年模索してきた取り組みが、ようやくここに来て大きく開花したようです。これからも「ラウンジ・カフェ」や学園祭との連動など、さまざまなアイデアが実現する見通しで、明るいキャンパスを目指して、皆が一致協力して取り組んでいるという点において、今後の八千代キャンパスがたいへん楽しみです。

## 短期大学

### 短期大学基準協会による第三者評価を受けました

短期大学第三者評価は、教育の質の保証と短期大学の主体的な改革・改善を支援する目的で短期大学基準協会が実施し、各短期大学は7年に一度受けることになっています。

〈建学の精神と教育の効果〉〈教育課程と学生支援〉〈教育資源と財的資源〉〈リーダーシップとガバナンス〉の4つの基準及び建学の精神に基づいた特色ある教育活動についてアピールする〈選択的基準評価〉について、平成25年度までの本学の取組を自己点検・評価して報告書を作成し、6月に評価員に送付しました。

そして、9月30日から10月1日に4名の評価員が来校し、提出した報告書を基に、面接調査及び学内施設の見学が行われました。面接調査には、学長をはじめ幼児教育科教員、事務局長をはじめとする職員が参加して全学一致の体制で評価員からの質問に答えました。「建学の精神を周知することによって、学生の言動に変化が見られたか?」「カリキュラムマップの定期的な点検に向けた取り組みはどのように行っているか?」「実習事前指導で実習に出すレベルに達していない学生についてどのような対応を行っているか?」「就職指導はどのように行っているか?」「社会人入学生の満足度は高いか?」など、多岐に渡る質問が出ましたが、いずれの質問に対しても担当の教職員が具体的に説明して回答し、ピユア・レビューの精神に則った面接は終始

## 中高一貫部

### 理科の新しい挑戦（取り組み）

今年は、科学の分野において、日本人として誇らしい出来事が沢山ありました。日本人物理学者3名のノーベル物理学賞の受賞、はやぶさ2の宇宙の長旅へのスタート、個人的には世界初の燃料電池の自動車（ミライ）の一般発売も…です。

中高一貫部でも、教科書の範囲を超えた内容に挑戦をしていくことは、未来を担う子供たちにとって大切なことだと考え、先端技術の研究（者）や生活を快適にしている科学などに直接触れる機会を提供してきました。

具体的には、6月・10月に日本科学未来館から招いた科学コミュニケーションーターがファシリテイトする対話型ワークショップ（対象：高2）、



未来をつくる対話型ワークショップ  
～生物多様性～

11月に㈱コニカミノルタから招いた10名程の若手社員によるコピー機の体験授業（対象：中2）、11月後半に大学の教官を招いて行った実験・実習を含む出前講座（7講座対象：高1中心に中2～高2まで）です。いずれにおいても、講師側からの一方通行の講演ではなく、生徒達が能動的に行動・活動する機会が盛り込まれ、生徒達のイキイキした姿を見ることができました。



出前講座の実験



コピー機の体験授業

提供し、生徒自らが課題を見つけ探究していくような教育ができればと考えております。

高等部

高校生書評合戦首都大会

岩下さん優勝

お薦めの本を観客の前で紹介し、どの本が一番読みたくなったかを決める「高校生書評合戦首都大会2014」（都教育委員会主催、読売新聞社など後援）が11月15日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれ、文芸部1年岩下咲来彩さんが優勝、翌日の読売新聞で紹介されました。大会には、東京・神奈川・千葉・埼玉の地区大会勝者31名がお気に入りの本を手に取りながら、5分間の制限時間内での魅力を発表、観客の投票で順位を決めました。

優勝した岩下さんは、ゴキブリの意外な優しさなどに触れた『嫌われものほど美しいーゴキブリから寄生虫まで』（ナタリー・アンジェ著、草思社）を紹介し、生き物が持つイメージは必ずしも正しくはないとしたうえで、「嫌いな人がいても、その人のいいところを探そうとすれば、人間関係はスムーズになるのでは」と熱弁を振りました。

書評合戦（ビブリオバトル）は、「人を通して本を知る、本を通して人を知る。」をキャッチコピーに全

国に広まっている本の紹介コミュニケーションゲームです。岩下さんは、文芸部員をはじめ多くの仲間への応援を受け、度重なる激戦（東京都大会・首都大会）を勝ち抜いて、1月の全国大会（全国高等学校ビブリオバトル決勝大会）への出場権を獲得しました。



どくしよ甲子園

文芸部・2年連続 優秀賞受賞

1冊の本を語り合った成果を一枚の「どくしよボード」で表現する、高校生の読書会コンクール「第5回どくしよ甲子園」（朝日新聞社など主催、文部科学省後援）の入賞作品

(最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞3点)が決定し、『モモ』(M・エッセイ著、岩波少年文庫)を取り上げた文芸部の松岡武君(2年)、杉山志穂さん、前田萌依季さん(1年)のチームが優秀賞に輝きました。文芸部の入賞は昨年の優秀賞に続いて2年連続、本校生徒の入賞も3回目となりました。受賞作品は、11月30日の朝日新聞に掲載されました。



「どくしょ甲子園」ホームページ掲載中

「時間って何」という興味で選んだファンタジーの名作『モモ』、読書会では、「時間」の他に「自由」と「束縛」というテーマが浮かんできまし

た。しかし、この2つを対立する概念として議論を始めたら何度も行き詰ってしまいました。物語の世界から離れ、授業や部活など現実で考えてみると、そこにはスポーツのようにルールに縛られているからこそ楽しめることがあることに気づきました。「自由は束縛があつてこそ存在する。束縛の多い社会でも、楽しく自由であろうとするので、輝けるのではないだろうか。」そんな日々の大切さを教えてくれた1冊でした。



左から杉山さん、松岡君 前田さん

文芸部は、高等部図書室で活動しています。コンクールへの挑戦だけでなく、小説を執筆したり、他校との交流会に参加したり、休日には文学散歩に出かけたりとアクティブに活動していると楽しいクラブです。

深谷中学校

中学生と市長との対話会



小島市長とふっかちゃんを囲んで記念撮影

いて、山田翔暉くんが「市民による多文化交流の活性化について」、2年生の上條月さんが「花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトについて」、栄田雅一くんが「新しい市庁舎の建設について」、渡邊慶太郎くんが「市長さんの仕事に関連して」、市長さんに質問しました。市長さんはそれぞれの質問に丁寧に答えてくださいました。

11月7日、小島進深谷市長に來校していただき、生徒と市長さんの対話会が集会室で行われました。

まずは、小島市長さんが、今年のゆるキャラグランプリで、準グランプリに輝いた「ふっかちゃん」を連れてきてくれたので、全員で記念写真を撮りました。

続いて、生徒を代表して1年生の加島未唯さんが「ふっかちゃんにつ

2年生の川本実果さんは、「市長さんのお話を聞いて、市長さんもおくさんの苦労をしているのだと強く感じました。また、市長さんの深谷市への熱い思いが伝わってきました。市長さんと一緒に努力してきたふっかちゃんの話、市庁舎の建設、花園にショッピングモールを作るといった話など、新しく進めていかなければならない事が多くて驚きました。中学生の私がどんなに忙しいと思っても、市長さんの忙しさにはかなわないと思いました。今現在の問題と、これから進めていく事を両方考えながら深谷市を良くしていこうという思いに心をうたれました。そんな忙しい市長さんですが、今回の対話会や市のイベントなどにも積極的に参加して市民の声を直接聞いている姿は素晴らしいと思います。私も今、やりたいこと

がたくさんありますが、一つ一つ丁寧な、そして一生懸命取り組んでいます。」と感想を述べてくれました。

深谷高校

「税に関する作文」 会長賞受賞

毎年、熊谷税務署や大里地区租税教育推進協議会では、租税教育の取り組みとして「税の作文」や「租税教室」を実施しています。

本校で夏休みの課題として2年生の進学コースの生徒を対象に「税の作文」を、3年生の進学コースの生徒を対象に、講師の方をお招きして「租税教室」を12月に実施しています。今回、「税に関する作文」で2年D組木崎彌春さんが、見事「関東信越税務連絡協議会長賞」を受賞しました。今回の作品の応募数は536点でした。

表彰式は11月12日に行われ、本校終業式において受賞作品を全校生徒の前で朗読してもらいました。

本人の喜びの声

「この度の受賞を大変嬉しく、光栄に思っています。税の作文を書くにあたって、自分の感じたことや、現在の日本の経済状態について考えたことを素直に発表できて良かった。

たです。これからも、税がもたらす影響力と、福祉の関連性の高まりに注目して行きたいと思っています。」

こどもまつりへ参加

さくらんぼ保育園こどもまつりに進学コース保育系の有志が参加しました。企画した巨大すごろくでは、コマを進めていくと魚釣りやボーリング、輪投げにおもちゃ作り、アイスクリーム作りのミッションに挑戦し、最後は本校生徒とジャンケンをしてゴールでメダルをプレゼントしました。生徒は子どもたちに楽しんでもらえるよう、一つの企画を丁寧に作り上げました。リーダーの3年生石川さんは「当日は雨でしたが、順番待ちの行列ができてくれ、一生懸命取り組んでよかったと思います。学年が違うメンバーをまとめるのは大変でしたが、全員で協力し完成させることができました。子どもたちの笑顔を見るのができて嬉しかったです。」と振り返っていました。本番に至るまで生徒は普段見せない活き活きとした表情で活動していました。保育士を目指す生徒にとって自信をつける絶好の機会となり、これからも

地域の子どもたちとふれあいを大切にし、生徒の取組みを多くの方に知っていただきたいです。

チアダンス部「INFINITY」(無限大)



深谷市の「青淵まつり」に参加し、あいにくの雨でしたが、降りしきる雨の中、観客の皆さんの温かい拍手もいただきながら最後まで笑顔で元気に踊り、イベントを盛り上げることができました。

自分たちの無限大の力を信じて踊り、関東ダンスドリル秋季競技大会を突破、全国大会に出場すること

ができました。今後も支えてくださる皆様への感謝の心を大事にし、演技とチアスマイルで地域の活性化に貢献できるように頑張ります。

幼稚園

秋の大運動会



ライオンキング 2014 Seitoku Version

2週連続の大型台風に合い残念ながら2度の延期となりましたが、英語指導のジェームス先生の「サード・

タイム・ラッキー」との言葉の通り、当日は雲一つない晴天に恵まれ、大運動会を開催できました。

年少は、黄緑のパンツに赤い羽根のテントウムシになりきり、かわいらしいしぐさに思わず、保護者は微笑み、年中の組体操は、一つ一つの演技を太鼓に合わせて機敏に動く姿は素晴らしく、そして、年長全員による「ライオンキング2014 Seitoku Version」は野外劇風のマッゲームをおこないました。これは幼稚園オリジナルで、体形変化をふんだんに織り込んだ曲を使い、高度の演技にもかわからず集中力も切れる事なく、最後まで力一杯ライオンになりきりました。園児達は、大勢の方の前で演技しきった満足感が感じられ、それが観客の皆様も感激に変わり、グラウンド全体が一体となっていました。また、園長もライオンのお父さん役で衣装をまとい、演技に加わり、一層盛り上げていました。

それぞれの学年で一人ひとりが力を合わせて、子ども達は自信に満ち溢れていました。保護者の協力のもと、大勢だからできる素晴らしい思い出を心に深く刻むことが出来ました。

保護者もわが子の成長ぶりに感動し、大勢の方が涙していました。



## 第二幼稚園

### 成徳まつり

7月17日、毎年夏休みに入る前の時期にお祭りを行っています。浴衣や甚平などの夏らしい服装で登園します。園庭ではおみこしを担いだり、盆踊りを踊ったりしました。室内では、クラスごとにゲームが用意され、友達と一緒に遊ぶすくい・金魚釣りなど楽しめます。子ども達が普段の遊びの中で使えるおもちゃが景品となります。今年は「光るうちわ」をもらいました。夏の日差しをいっぱい浴びて、これから始まる楽しい夏休み前のイベントとなりました。

## わくわく広場

8月の後半に親子で参加する活動を毎年、大学子ども学部と短大幼児教育科の先生方の協力を得て行っています。26日の年中の音楽広場では、手作りの打楽器を使ってリズムに合わせてたたいたり、歌ったりと楽しい活動でした。28日は年長の造形広場で、大きな透明なビニールに思い思いの絵を描き（写真）、その上に特殊な絵具を塗りました。後で乾くと絵が浮き上がり、まるで水中にいるような絵となりました。29日の年少の体操広場では、新聞紙やレジ袋を使って楽しく運動遊びをおこないました。

## クラブ活動等

### 大学

- バスケットボール部(男子)
- 関東大学リーグ戦3部リーグ 3位
- バスケットボール部(女子)
- 関東大学リーグ戦4部リーグ 4位

### 中学・高校

- 昭和シェル石油環境フォトコンテスト
- ジュニア部門 奨励賞
- 薬物乱用防止推進事業 地区会長賞
- 書道部
- 国際高校生選抜書展 秀作賞 入選
- 南関東地区団体優秀賞
- 文芸部
- 高校生書評合戦首都大会 優勝
- どくしよ甲子園 優秀賞

### バトン部

- バトントワーリング全国大会
- 高等学校の部バトン編成 金賞
- 中学校の部バトン編成 銀賞
- バスケットボール部(女子)
- ウィンターカップ ベスト8

### 深谷高

- 美術部
- 私学文化祭作品展絵画部門 佳作
- バレー部
- バレーボール高等学校選手権大会
- 北部支部予選会 準優勝

平成 27 年入試カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
<b>1月</b>				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 ・深谷中
11	12 ・深谷中	13	14	15	16	17 ・深谷中
18	19	20	21	22 ・高校 ・深谷高	23	24 ・深谷高
25 ・短大 ・大学	26	27	28	29	30	31 ・深谷中 ・大学院

日	月	火	水	木	金	土
<b>3月</b>						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 ・大学(子どもを除く)	11	12 ・深谷高	13	14
15	16	17	18	19	20	21 ・大学(経営のみ)
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
<b>2月</b>						
1 ・中学	2 ・中学	3 ・中学 ・短大 ・大学	4	5	6	7
8 ・中学	9	10 ・高校	11	12 ・深谷高	13	14 ・高校 ・大学
15	16	17 ・短大 ・大学	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

※最新の情報については各校ホームページ等でご確認ください。



学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

**東京成徳大学大学院** <http://www.tsu.ac.jp/gra> 電話 03-3927-4116

**東京成徳大学** <http://www.tsu.ac.jp> **PC**  
<http://www.tsu-mobile.com> **携帯**



子ども学部 経営学部 十条台キャンパス入学課 電話 03-3908-4566 (直通)  
 人文学部 応用心理学部 八千代キャンパス入試広報課 電話 047-488-1000 (直通)

**東京成徳短期大学** <http://www.tsc.ac.jp> 電話 03-3908-4566 (直通)  
 十条台キャンパス入学課

**東京成徳大学中学・高等学校**  
 中高一貫部 <http://www.tokyoseitoku.jp/js> 電話 03-3911-2786  
 高等部 <http://www.tokyoseitoku.jp/hs> 電話 03-3911-5196

**東京成徳大学深谷中学・高等学校**  
 中学校 <http://tsfj.jp> 電話 048-573-1784  
 高等学校 <http://www.tsfh.jp> 電話 048-571-1303

**東京成徳短期大学附属幼稚園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind> 電話 03-3911-6337

**東京成徳短期大学附属第二幼稚園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind> 電話 048-854-2151

**東京成徳スイミングスクール** 電話 03-3914-2383